

令和5年度 錦江湾横断交通ネットワークに係る勉強会 開催結果概要

1 目的

錦江湾横断交通ネットワークの課題等について関係機関の間で認識の共有を図るため

2 勉強会の概要

(1) 日 時 令和5年11月22日(水) 13時30分～15時45分

(2) 場 所 県社会福祉センター

(3) 出席者

鹿屋市(市長公室政策推進課), 垂水市(企画政策課)

鹿児島市(政策企画課, 危機管理課, 街路整備課, 船舶局)

鹿児島国道事務所, 大隅河川国道事務所, 第十管区海上保安本部

鹿児島県(総合政策課, 道路建設課, 危機管理課)

(4) 内容

錦江湾横断交通ネットワークに関する最近の動向や今後検討すべき課題等を共有し意見交換を行うとともに, 有識者による講話を聴講した。

① 意見交換(主な意見)

- ・ 社会経済情勢等を踏まえ, 総合的に検討していく必要があるとの県の考え方が示されており, フェリー事業への影響や火山活動に対する安全対策など勘案しながら慎重に対応する必要があるものと考えている。
- ・ 防災・医療の観点から「命を守る道路」として必要不可欠であり, 実施路線化と早期着工に向けて関係団体や周辺自治体等に協力を得ながら取り組んでいきたい。
- ・ 関係自治体や経済界を含めた地域全体の総意・機運醸成が重要であると認識している。
- ・ 火山活動や地震に対する安全性を踏まえた建設等の技術的な可能性等については, 今後, 勉強していく必要があると考えている。
- ・ 道路の目的や必要性が問われるので, 勉強会の中で課題を共有することは有用である。
- ・ 海上工事となると, 航行船舶の安全対策や航行船舶に対する情報提供などが必要になる。

② 講話

NPO法人 桜島ミュージアム理事長より桜島の地域活性化，火山活動等についての講話をいただいた。

【主な内容】

- ・ 桜島における地域活性化等の取組の紹介
- ・ 住民が便利であることと地域経済の発展は別物。
- ・ 交通が便利になると，より便利な都市部へ出かけ地域経済が衰退する可能性もある。
- ・ 大正噴火で失ったマグマの 90%が既に溜まり，今後 10 年程度で 100%となることが見込まれ，道路を建設するとしても防災上は大噴火を想定した方がよい。